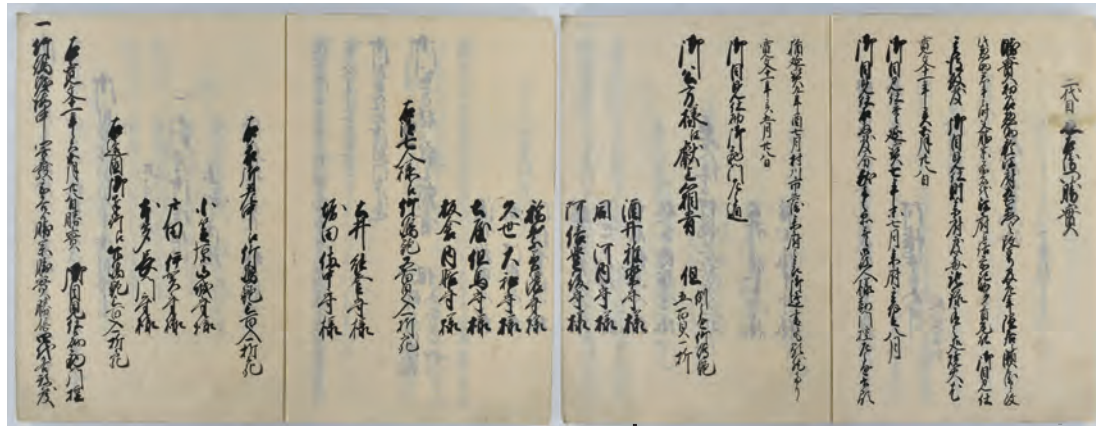


時代区分I (1)-③将軍拝謁、産品献上に関する資料

大谷九右衛門勝実による将軍への拝謁の記録

No.5 竹島渡海由来記抜書控(御目見、献上の記録)

新規掲載



所蔵: 島根県竹島資料室

資料概要

大谷家が後年まとめた記録で、二代目の九右衛門勝実が御目見(将軍への拝謁)と献上を行ったことについてが書かれている。御目見は、1671年(寛文11年)をはじめ何度も行われたが、記録が焼失しているものもあると記載されている。村川家が御目見を行ったことについても言及されている。

また、1671年の御目見の際、幕府の役人に産品を献上した際の相手方、内容について記録がある。文中に「竹嶋」とあるのは鬱陵島のこと。

現代語訳

二代九右衛門勝実

勝実は幼名を惣助という、参府で江戸に出たとき、九右衛門を名乗り、年老いてからは隠居し瀬兵衛と改名した、この惣助は若い時に父勝宗の名代として江戸に滞在し、前の記録に有るように首尾よく御目見をこなし、その後も数回御目見にあずかっており、参府のたびの記録もあったが、焼失してしまった。寛文十一年(1671年)亥の五月二十八日に御目見し、延宝七年(1679年)未の七月参府し、翌八月にも御目見をした(※1)。この両方の時に献上した品とその他、御役人様たちへもその家ごとに差上げた品は左の通り書いて明らかである。なお、延宝九年西の七月村川市兵衛が参府した時、頂いた御達書によってもはっきりとしていることである。

寛文十一年亥の五月二十八日

御目見の時に将軍様に献上した後、幕府の御役人様それぞれの方々の氏名と役職と差し上げた品々は左の通りである
御公方様へ献上箱肴 但し 例の通り竹嶋鮑

五百貝一折
酒井雅楽守様

内容見本

二代目 九右衛門勝実

勝実幼名惣助於江府九右衛門と改号及老年隠居シ瀬兵衛と改此惣助若年之時父勝宗が名代江府江詰前記如ク首尾能御目見仕其後数度 御目見仕則参府度毎記録有之処焼失尤寛文十一年亥五月廿八日

御目見仕并ニ延宝七年未七月参府其翌八月

御目見仕右両度分献上之品并ニ御役人様勤門控左之通書頭

猶延宝九年西七月村川市兵衛参府之節御達書ニも顕然たり

寛文十一年亥五月廿八日

御目見仕砌御勤門左之通

御公方様江献上箱肴

但例之通竹嶋鮑五百貝一折

酒井雅楽守様

(略)

作成年月日	-
編著者	-
発行者	-
収録誌	-(大谷家文書1-3)
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	無
所蔵機関	島根県竹島資料室
利用方法	島根県竹島資料室に問い合わせを行う

※1 延宝七年(1679年)の参府、御目見については、実際には三代目の勝信が代理で行った。